

恐竜模型製作事業

概要

神流町は関東唯一の恐竜化石産地として有名であり、恐竜センターを中心に「恐竜」によるまちおこしに取り組んできた。町内には一部を除いて産業が乏しいため、町では雇用の創出に力を注いでいるところ、「恐竜」を有効な地域資源と考え、国内では類を見ない高品質かつ精巧な手作りの恐竜模型を製作し販売する事業を平成25年に開始した。小さな町から全国規模で魅力のある雇用の場として「恐竜産業」を確立するという大きな目標に挑戦している。

群馬県神流町



手作業による恐竜模型作成の様子

事業の内容

事業の内容

- ①恐竜模型の増産及びラインナップの拡充
- ②国内における販売先の拡充
- ③市場調査
- ④恐竜王国秋祭りの活性化

総事業費

15.5百万円

ポイント

恐竜模型は市場に多く存在するが、その多くは中国産であり、品質も必ずしも高くはない上、適切な学術監修を受けたものは少ないのが実情である。本事業では地域資源としての「恐竜」を活用し、高品質な材料と確実な学術監修の下で製作を行い、神流町ならではの産業を振興し、全国的にも魅力のある雇用の場を確立することにより、町にI・Uターン者呼び込み町への移住・定住を促進することを目指している。



高品質かつ学術監修に基づく恐竜模型

事業の成果

- ラインナップの充実(16種類→32種類に増加)
- 生産性の向上(恐竜模型製作数昨年比26%増産)
- 新規販売先の開拓(新規販路11件開拓)
- 売上の向上(恐竜模型売上昨年比36%上昇)

今後は、新たな客層の獲得や更なる生産性の向上を図るとともに、国内だけではなく、海外に向けても製品販売を展開し、「恐竜産業」の定着を図っていく。



恐竜センターでの恐竜模型陳列の様子